

須恵



12月定例会

主な内容

自治組織参加促進条例を制定 ②

特集 オープンイノベーションセンター ④

ここが聞きたい(一般質問) ⑥

これ知っとう?(新原開村400年) ⑫

表紙シリーズ/未来を担う子どもたち「親子の夢のせて」(第32回ファミリーカイトフェスタ)

これ知っとう?

わが町の宝物 第11回

しんばるかいそん
新原開村400年



町指定文化財 武井家文書(町立歴史民俗資料館収蔵)

黒田長政の花押が書かれた命令書

時代は移り変わっても、守り続けていきたい自然・歴史・文化・人…
須恵町の大切な宝物をご紹介します。

須恵町の20行政区の一つ新原区が、今年4月25日で開村400年を迎えます。元和4年(1618年)当時の藩主黒田長政により、佐谷村と須恵村間の原野に開墾が命じられたという武井家文書(上記写真)が残っており、正確な日付が分かっています。関ヶ原の合戦直後だった事からも、歴史の古さがうかがえます。

そこで今年5月に、これを祝う事業が新原区の有志により計画されています。内容は記念碑の建立、記念誌の発行、歴史資料の展示及び記念講演で、コンセプトは①先人に感謝し、一層の発展を願う。②区民たる喜びと誇りを持つ。③これを記録に残し、将来に向けての町づくりに寄与する。としています。

また当該区では、廃仏毀釈を逃れた仏像を祀る(地藏祭)7月の二十三夜祭や、8月15日の盆綱引きなどの歴史的と言える行事も続いています。

さらには、明治21年以来昭和39年に至る76年間に、海軍の予備炭山(後の旧国鉄志免鉱業所)とする燃料供給にも良質の石炭が産出された事から国の近代化の一翼を担ってきました。

記念事業の詳細は、これから決まる事になります。この歴史的イベントを共有してはいかがでしょうか? ※二十三夜祭は189号に、海軍炭鉱は197号に詳しく掲載しています。



二十三夜祭



海軍炭鉱

新原開村400年記念式典

平成30年5月19日(土)

9時 受付

10時 記念講演

アザレアホール須恵にて



母里 渉さん(新原区)にお話を伺いました。



編集後記

今年、1618年(江戸時代前期)新原開村400年にあたる。1600年関ヶ原の戦い。1615年大坂夏の陣で豊臣氏滅亡。翌年には徳川家康死去。やっと、平穏な日々が訪れた時期である。

武井家文書(開墾命令書)には、黒田長政の花押がある。花押とは、署名の代わりに書いた一種の記号、書判(かきは)である。花押は判を加える(言ひ)、印鑑は判を押す(言ひ)。おそろくこの花押も、長政の自筆である。

花押の始まりは、平安時代、戦国時代、織田信長は「隣、伊達政宗は鳥セキレイ」を圖案化した花押だ。黒田長政は、ローマ字を使った印章「URONGMS」をもちいている。

400年前と聞いて始めはピンとこなかったが、編集をとおして歴史を紐解き、なんとなく時代背景が見えてきて楽しく編集活動ができた。今年も、読みやすい広報紙になるよう努力していきたい。

今村桂子

須恵町

自治組織参加促進条例を制定

12月定例会

平成29年第4回定例会は、12月6日から13日までの8日間で行われ、審議の結果、提案された議案8件を原案のとおり可決・承認しました。また、議員提案の条例および意見書1件を可決しました。



おたがいに手を取りあい 住みよい町を

発議第1号 須恵町自治組織参加促進条例の制定

須恵町自治組織参加促進条例

- 前文 背景と精神
- 第1条 目的
- 第2条 定義
- 第3条 基本理念
- 第4条 町民の役割
- 第5条 自治組織の役割
- 第6条 事業者の役割
- 第7条 住宅関連事業者の役割
- 第8条 議会の責務等
- 第9条 町の責務等

町民の自治組織（行政区・組合）への加入や活動への参加が減少しています。須恵町では、長い歴史の中で育まれてきたそれぞれの地域の伝統があります。各地域の組合はその担い手として、豊かな地域づくりのために寄与してきました。近年の度重なる自然災害の経験から、人と人とのつながりや地域の重要性が求められる中、町民の組合への参加促進を図り、住みよい町をつくるため、本条例を發議・採択しました。

制定に至る経緯

平成28年2月に、須恵町の地域を代表する区長の皆様と議会議員との懇談会において、地域の課題を話しあい、複数の議論を継続しました。

その後、組合加入率低下に論点が集約され、議論を重ねる中、平成29年2月に条例制定の方向性が示されたものです。さらに議員の検討委員会において原案を作成し、討議を交わした結果、12月定例会での提出に至りました。

協議会の役割

条例を受けて「須恵町自治組織参加促進協議会」が設置されます。実際の事案に対しては、ここで調査・審議をします。

15人を被災地へ派遣

九州北部豪雨支援費

歳出 80万円増額

須恵町は、平成29年7月の九州北部豪雨被災地へ、これまでに15人の職員を派遣しています。その旅費や消耗品費等の補正です。

オイコスのホール照明を改修

地域活性化センター

歳出 350万円増額

既存照明のLED化、LEDのスポット照明・ダウンライトの新設等の工事が行われる計画です。



改修工事が行われるオイコスの照明

債務負担行為の補正(主なもの)

(追加)

コミュニケーションバス運行事業 期間 平成30年度～32年度 限度額 3750万円

コミュニケーションバス本格運行開始から6年が経過し、引き続き契約を行うものです。



Q&A

Q バスの小型化は？

利用者の数に対してバスが大きいのではないかと。小型化の検討は行われているか。

A 検討している

(まちづくり課長)

必要時に呼べるデマンドバスや、14人乗り、10人乗りバス等、視察を行い検討中。

現在、10人乗りバス(小型2種免許)による運行事業の検討を進めている。

その他の議案

◇須恵町税条例の一部改正

◇志免町道路線認定の承諾 特別会計補正予算 429万円を減額

◇平成29年度須恵町国民健康保険特別会計補正予算 578万円を増額

◇平成29年度須恵町水道事業会計補正予算 11億1306万円

◇平成29年度須恵町水道事業会計補正予算 686万円を減額

◇須恵町個人情報保護条例の一部改正 (賛成多数で可決)

意見書(議員発議)

道路整備に必要な予算確保に関する意見書 (国の補助金の延長を求める)

提出議員 三角栄重 賛成議員 全議員(議長除く)

関係機関へ意見書を送付しました。



区長会役員へのインタビュー

この条例制定をきっかけに、各行政区内の横のつながりがもっと強くなることを期待しています。今後設置される協議会では、知恵を出し合い、組合に入りたくするような、町民みんなで手を繋ぐ仕組みを作っていかなければなりません。



伊藤副会長 稲永会長 田子会計



区長会との懇談会において問題点を共有

補正の主なもの
須恵町オープンインノベーションセンターが運用開始
スエノバ活動助成金
歳出 540万円増額
オープンインノベーションセンター(スエノバ)が11月に開所し、運用が始まりました。事業協同組合設立のための登記費用など、スエノバが収益を得るまでの初期活動費用として計上されました。
※4～5ページに関連記事



改修工事が行われるオイコスの照明

Q バスの小型化は？
利用者の数に対してバスが大きいのではないかと。小型化の検討は行われているか。
A 検討している
(まちづくり課長)
必要時に呼べるデマンドバスや、14人乗り、10人乗りバス等、視察を行い検討中。
現在、10人乗りバス(小型2種免許)による運行事業の検討を進めている。

その他の議案
◇須恵町税条例の一部改正
◇志免町道路線認定の承諾 特別会計補正予算 429万円を減額
◇平成29年度須恵町国民健康保険特別会計補正予算 578万円を増額
◇平成29年度須恵町水道事業会計補正予算 11億1306万円
◇平成29年度須恵町水道事業会計補正予算 686万円を減額
◇須恵町個人情報保護条例の一部改正 (賛成多数で可決)

※すべてのページにおいて金額は1万円未満を切り捨てています。

須恵町の地方創生を成功へと導く鍵となるか

ス エ ノ バ
須恵町オープンイノベーションセンター

SUENOBA

SUEMACHI OPEN INNOVATION CENTER

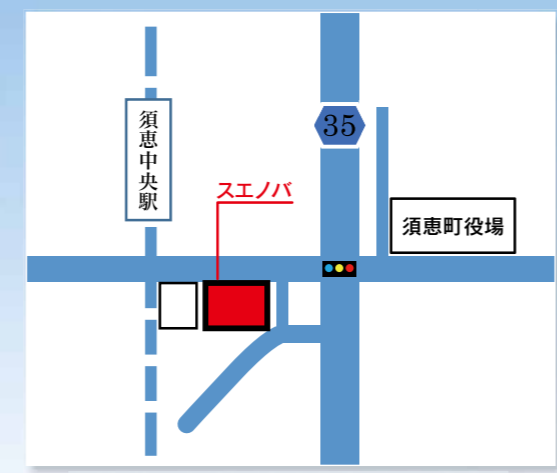
いよいよ 稼働



広々としたミーティングスペース



ライトアップされたスエノバ



所在地 須恵町大字須恵 801 番地 1
電話 092-957-9911

<施設概要>

- ・延床面積 192.37㎡(約58坪)
- ・株式会社 SUENOBA 事務所
- ・会議室(研修室)
- ・共同オフィス
- ・セミナー、展示会会場

国の補助金(地方創生加速化交付金)を活用して建設



須恵中央駅前完成した須恵町オープンイノベーションセンター

須恵町の地方創生の拠点「スエノバ」

平成29年度一般会計補正予算 スエノバ活動助成金540万円を増額

須恵町の地方創生をさらに加速化させ、町の魅力や稼ぐ力といった新たな付加価値を創出するため「須恵町オープンイノベーション戦略推進事業」が進められています。その拠点となるセンターが開所し、運用が始まりました。

国が進める地方創生

国は地方創生を押し進め、各自治体は自己責任で自治体経営を行わなければならない状況にあります。

将来を見据え自ら稼ぐ力を

安定した収入を得ることが、町を活性化するうえで最も大切です。

町の将来を考えたとき、町が自ら稼ぐ力をつけ、住んでよかったと思える町づくりを推進するため、須恵町は、商工会・企業クラブと協力してこの事業に取り組んでいます。



11月13日 開所式

商工会・企業クラブ・議会・町関係者など50人以上が出席しました

スエノバは須恵町を経済的に元気にする場所

スエノバは、須恵町100%出資による株式会社として設立されました。(平成29年9月1日)
町内外企業事業者の支援やコンサルティング事業が行われる計画です。

詳しい内容は次のページに記載しています。

全国初の取り組み

SUENOBAで想定される事業

- 企業の経費削減のために
 - ・電力小売化事業
 - ・ETC減額事業

まずスエノバに目を向けてもらう
- 企業の人手不足に対して
 - ・外国人技能実習生の受け入れに関する事業
 - 事業協同組合の立ち上げ

企業が動き出す拠点に
- 主な収入活動として
 - ・シェアオフィス事業
 - 町外事業者からの年会費
 - ・その他コンサルティングによる取扱手数料等

これを町の財源に

「ひと、もの、しごと」が、外から中へと新たな流れを創出する。

須恵町の可能性を広げる事業が、第一歩を踏み出しました。

福岡都市圏にあり、スマートインターチェンジから3分という利点を活かし、このセンターが地方創生の「核」となることを期待します。

しかし、結果が出るまでには、ある程度の時間を要すると思われます。

このチャレンジが成功し、住んで良かったと思えるまちづくりが実現できれば、さらなる地域の活性化、人口増加にもつながると思います。

今後も議会として、注意深く監視していきます。

保育

先生の確保を

問

須恵町では、平成32年度に掲げていた目標人口2万8千人を本年11月10日に達成しました。町としては喜ばしいことですが、人口増に伴い、保育園・幼稚園の対応は大変になるのではないのでしょうか。

幼児教育は、早目に始めて10歳位までに基礎ができると言われていきます。30年度の幼

答 安河内教育長

稚園の3歳児定員105名に対して入園希望者が130名と、25名の方が抽選もれで入園出来ない状況です。3歳児の教育はとても大切です。抽選もれを理由に、3歳児の入園希望者の入園を拒むことのないような配慮を。

町立の幼稚園は、それぞれ35人の定員数があり、それぞれ超えた場合は抽選になります。希望の園の抽選にもれ

た方に対しては、他の園に空きがあれば情報提供を行ってまいります。また、申し込みをした園での待機や、私立幼稚園の選択について説明を行っています。

町の方策として、本年度から定員数を25人から35人に増やしたことに加え、私立の認定こども園「明道館」が11月に開園したことにより、受け入れ体制は以前に比べ整ってきたと考えます。

全国的な傾向として、賃金の問題だけではなく、保育の大変さや責任の重さ、事故への不安等から、保育士・幼稚園教諭は「なり手不足」の状況にあります。先生がいなければ児童の受け入れができないため、本年度から常勤の臨時職員の賃金を月額7,000円から8,200円に引き上げるなど、人材確保のため検討・協議を行っています。



南幼稚園の3歳児



答弁中の中嶋町長

○「問」については、議員が提出した要約文のとおり掲載しており、編集は行っていません。

ここが聞きたい!

一/般/質/問

○一般質問とは、議員が町長など執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をただし、報告や説明を求めることです。

子育て

国の動向を見て

問

電子母子手帳は様々な機能を持ちます。自治体では、予防接種や乳幼児健診の通知機能の使用で受診率向上を期待、子どもの成長段階に応じて保護者の対策を絞り込みイベント情報などの発信。保護者では、予防接種の事前通知で日程管理が簡単に、身長や体重の入力だけで子どもの発育曲線を自動でグラフ化、ス



マホで成長記録を写真でいつでも記録でき家族で共有が可能です。また、自治体から子育て情報などをアプリで簡単に受信などのメリットがあり、導入済み予定の自治体は100以上です。導入のお考えは。

答 小林健康福祉課理事

電子母子手帳は、紙の母子手帳と並行して利用していただくサービスとして捉えています。通常の手渡し

健康

健康増進計画をもとに

問

須恵町の平均寿命と健康寿命の差は、男性1・11年・女性3・50年。介護保険利用者の多くが80歳以上です。健康寿命を延ばし、*フレイルになるのを防ぐため、より早い段階から取り組みを始めることが重要です。

団塊の世代が75歳以上になる2025年を見据え、運動・栄養、社会参加などにより、60〜74歳のヤングシニアの健康づくりに重点を置いた取り組みが必要では。

答 中嶋町長

健康寿命・健康長寿を行政が叫んでも、健康に関しては個人の問題であり、個人がどのように意識改革するかが重要です。行政は、その莫大な範疇の事業を関係各課で選別・実施しており、きっかけづくりになることを期待しています。

答 小林健康福祉課理事

食からの健康づくりについては県内でも高い評価をいただいています。健康増進計画のアンケートをもとに、今の事業を見直し、さらに充実させていきたいと思っています。

*「虚弱」を意味し、高齢になって筋力や活力が衰えた段階のこと。



今村 桂子 議員

一／般／質／問 町政を問う！

現状維持で

問 住民の健康と生活を守るための特定健康診査、また国からの生活支援金、臨時福祉給付金の案内等「広報すえ」議会日より「福岡県だより」は、町・県が発行する広報紙で、ぜひ住民の皆様を知っていただきたい内容のものばかりです。しかし、町内会に加入していない世帯には広報紙が届いていません。現在、区にお願

答 中嶋町長 平成26年12月定例会において同様の質問があり、「区長会と協議する」という回答をしました。区長会の意見としては、組合加入の促進にはつながらないため、連絡員が全戸配布することには反対という結果でした。

未加入者の中には、広報紙は必要ないという人も多く、広報を配布することによって組合に加入する人が増えるとは考えにくいと思います。また、業者によるポスティングで全戸配布をする場合、委託料と広報紙の増刷代あわせて年間約1千万円の増額となります。

この問題は、コンビニに置いていただくことも含め、自治組織参加促進協議会の中で、協議していただきたいと思っています。



児玉 求 議員

平成26年12月定例会において同様の質問があり、「区長会と協議する」という回答をしました。区長会の意見としては、組合加入の促進にはつながらないため、連絡員が全戸配布することには反対という結果でした。



町のホームページからも見ることができます



図書館にもおいてあります

民設民営の認定こども園 明道館が開園 待機児童解消に期待



須恵町で初めての民設民営の認定こども園「明道館」が、11月1日に開園しました。

園舎の内装には、木材がふんだんに使用され、園庭の全面に芝生が敷き詰められていました。併設のデイサービスとの連携により、高齢者との交流事業なども行われます。

保育料は、町立の認定こども園と同じ基準で算定されます。(その他の諸費用は園によって異なります)。

今回の補正予算では、2億2495万4千円が、保育所等整備事業費(県負担分)として計上されています。

対象年齢6か月～5歳の園児213人が入園でき、待機児童解消に寄与するものと期待しています。



明るい保育室



芝が全面に広がる園庭



木のぬくもりがある広々とした遊戯室



かわいいトイレ



避難用すべり台



多目的に利用できる中庭

認定こども園 明道館
所在地 須恵町大字植木 499-6
電話 092-410-1813

税のあり方

平成29年11月8日(水) 税務課の業務調査

私たちの生活に身近な「税」について、税務課職員の説明を受け、意見交換を行いました。

個人住民税の特別徴収推進

福岡県と県内全市町村では、個人住民税(給与所得者)の特別徴収を徹底する取り組みが進められており、須恵町でも事業所・従業員の方々の理解と協力を求めています。



たばこ税は町の貴重な財源

たばこ税は、その一部が、販売店のある自治体に納付されます。近年、加熱式たばこの利用者増や健康上の理由から、たばこの販売数は減少しています。須恵町でも平成27年度をピークに減少しています。たばこ税は町の貴重な財源です。

の貴重な財源です。たばこを購入する際は、町内販売店を利用するよう心がけましょう。

徴収率向上への努力

徴収対策実施スケジュールにより、計画的に収納業務が実施されています。平成30年度から国民健康保険の財政運営主体が、町から県に移ることに伴い、特に国保税の徴収対策が強化されています。

合同公売会の活用期待

市町村と県税事務所が合同で、税金の滞納で差し押さえた不動産の公売会を開催しています。須恵町でも1点出品し、売却代金が滞納の税金に充てられました。今後、活用が期待されます。

高い納税意識を持って

税金は、町が仕事を行い、行政サービスを提供する上で欠かせない財源です。私たちは、正しく申告・納税する意識を持つことが大切です。議会として、納められた税金の使い道を、しっかりと監視点検していきたいと考えます。

議長通信



稼ぐ力を

第2次安倍内閣が発足して6年目を迎えました。株価も6年連続で上昇するなど、安倍首相が掲げる「アベノミクス」の効果が少しずつではありますが実感できるようになってきました。総務省では、産学官の連携により、地域の資源と資金を活用し

て、雇用吸収力の大きい地域密着型企業を全国各地で立ち上げる「ローカル10,000プロジェクト」を推進しています。

この制度は、地元農林水産物を活かした特産品の開発・販売。いわゆる六次産業化の取り組みや観光拠点の整備などを行う「民間事業者」を国、県、市町村が応援していくものです。

国は、10,000件のプロジェクト発足をめざしていますが、平成28年度末で311件の採択。内6件が福岡県内で、民間事業者による古民家を使ったレストランや、地域

コミュニティによるカフェの経営など、いずれも地域で採れる農海産物を利用したものになっているようです。

町内の民間企業が「地域財」を活かし、持続可能な事業を行うことが、さらなる地域活性化につながります。

行政も稼ぐ力を身につけていかなければなりません。「スエノバ」もその一環です。

須恵町にも、起業の波が押し寄せ、新規事業の創造に期待しています。

追跡 一般質問のその後

執行部の答弁は実行されているのか？

過去の一般質問の内容に対し、どのような対応がなされたか、また、どのように町政に反映されているのか追跡しました。

第一小アスレチック場の今後は
平成28年9月議会

質問 第一小学校裏のアスレチック場は、立ち入り禁止で使用されており、草に覆われている。今後の活用方法は。

答弁 学校施設としての活用は難しい。地域から活用の要望があればその時点で考えたい。

進捗状況 第一小保護者(おやじの会)の自主活動により、アスレチックの撤去や草刈り等が行われました。また、児童が自由に出入りできないようにフェンスが設置されています。現在、維持管理もおやじの会にお願いしています。



作業中のおやじの会

本会議傍聴のご案内

本会議は一般に公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議当日に役場4階議会事務局の窓口にお越しください。(予約不要)



次の定例議会は
3月2日からの予定です。

ホームページで本会議の会議録を公開しています。

須恵町議会 検索

平成23年以降の会議録を掲載しています。ぜひご覧ください。



すえっ子未来ちゃん



作・田原ウーコ
1979年須恵町生まれ。イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やエディトリアルにて活動中。 <http://polyworks.jp>

委員会レポート

文教厚生委員会

平成30年1月16日(火) 図書館の業務調査

本を身近に

図書館の利用状況などを聞き取り、現状や業務上の諸課題について討議しました。

蔵書冊数・貸出冊数

町立図書館の蔵書は、平成7年開館時の2万5千冊から、現在は約9万8千冊と4倍ほどになっています。

貸出はここ数年10万5千冊前後でしたが、平成27年度は開館20周年でいろいろイベントを実施し約11万冊となりました。

「火花」や「羊と鋼の森」など話題作の貸し出しが多くなっています。

図書館のサービス内容

- ① 休館日：月曜日(祝日の場合はその翌日)
- ② 開館時間：10～18時
- ③ 貸出冊数・期間
- ④ 図書・雑誌一人10冊、2週間まで
- ⑤ サービス
- 貸出・リクエスト・相互貸借・レファレンス・コピー・DVD視聴

聴・インターネット等
諸課題・討議内容・感想

本の絵本制作、おはなし会、つみ木遊びなど図書館でのボランティア活動を含め、中高生の職場体験サポートなど図書館主催行事・事業は年間100回近くと数多く行なわれています。

本の購入費を維持しつつ、ここ数年購入がない視聴覚資料(DVD等)も欲しいところです。

2階に体育館があることによる騒音の解決は、現状では費用がかかり困難です。今のところ来館者にがまんしてもらっている状態です。

他に返却遅延者への督促。参加7団体によるボランティア会議を年3回実施し情報交換を行っています。

図書館業務は多岐にわたり、子どもから大人まで、知性を育み、教養を身につけ、町文化の形成とその向上に多大なる役割をになっています。その貢献度を高く評価し、議員としてもいろいろな面から支援していきたいと思えます。